



市・有形文化財 美術工芸品（古文書）

しい な やす たね き しん じょう  
**椎名康胤寄進状** | 魚津市上村木（常泉寺）

椎名康胤は戦国時代の松倉城主であり、上杉謙信によって攻め落とされるまで新川郡一帯に威を誇った武将である。この永禄7（1564）年の寄進状は魚津市に残る最古の文書の一つとして貴重であり、当時の椎名氏の隆盛ぶりを知ることができる。

文面は、次のとおりである。

為賀運慈慶菩提積手作分之内參拾俵所停止代官策配

百姓前直令寄進畢於末代不可有相違者也仍如件

永禄七 椎名

八月廿三日 康胤（花押）

常泉寺

内容は、当時、大熊にあった椎名の菩提寺の常泉寺へ、亡妻の賀運慈慶の菩提を弔うため加積の土地30俵分を寄進するというもので、椎名は子の康次を出家させて常泉寺を継がせるなど、篤い信仰心を示している。